高速一時退出社会実験ご利用の皆様へ

国土交通省

お寄せいただいている「よくある質問」をQ＆A形式にてご紹介します。

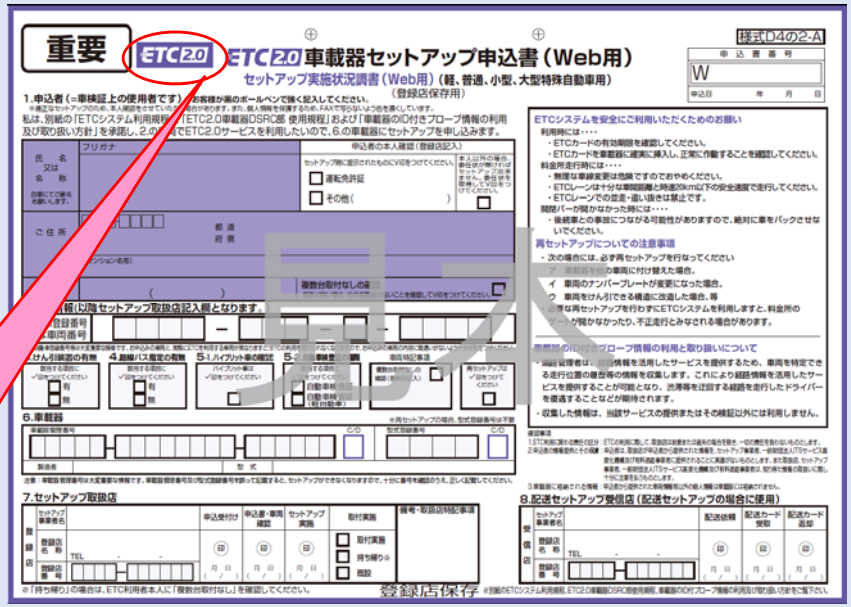
Q. どんな車載器でも「道の駅」もっくる新城に立ち寄った場合、料金据置になりますか？

A. 本社会実験は、ETC2．0限定です。従来のETC車載器は対象となりません。
ETC2.0対応車載器については（一財）ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」にてご確認ください。
http://www.go-etc.jp/etc2/etc2/use.html

○ ETC2.0　× ETC

Q. 自分の車載器が、ETC2．0かどうか、わかりません。確認する方法はありますか？

A. 各自で保管されている車載器セットアップ書類（申込書または証明書）をご確認下さい。
車載器セットアップ書類が見つからない方は車載器にETC2．0のロゴを確認いただくか、セットアップをした販売店等にご確認下さい。



ETC2.0のロゴ

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成２９年５月２４日
国土交通省　中部地方整備局
中日本高速道路株式会社

６月24日実験開始 「道の駅」が高速道路から立寄り可能になります

～ E1A 新東名　新城(しんしろ) IC　から　道の駅「もっくる 新城(しんしろ)」 への　一時退出　～

高速道路ネットワークを賢く使う取り組みの一環として、休憩施設の不足に対応し、良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を道の駅「もっくる新城」において行います。

今般、高速道路からの乗り降りを自由とし、道の駅「もっくる新城」への立ち寄りを可能とすることで、高速道路利用者が、休憩や買い物、食事、周辺の交通観光情報の入手、またEVの充電など、道の駅が提供する多様なサービスを利用可能となります。また、道の駅においても、広域的な利用者増加による地域活性化が期待できます。

開始日時：平成 29 年６月24日（土）　０時から

実施箇所：E1A 新東名高速道路　新城IC
　　道の駅　もっくる新城（愛知県新城市）

内　　容：**ETC2.0 搭載車を対象**に、新城ICで流出し、道の駅「もっくる新城」に立ち寄り後、１時間以内に同ICから再流入して順方向にご利用された場合、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。

〇配布先

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、
中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、
静岡県社会部記者会、静岡県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、
三重県第二県政記者クラブ、新城市政記者クラブ

〇問い合わせ先

中部地方整備局　道路部　計画調整課長　兵藤(ひょうどう)　真(まこと)　　課長補佐　平井(ひらい)　親一(しんいち)

TEL　052-953-8171　FAX　052-953-9180

中日本高速道路株式会社　広報室　【報道関係専用】 TEL 052-222-3628（直通）
ＮＥＸＣＯ中日本お客さまセンター（２４時間対応）【お客さま専用】
TEL　0120-922-229（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルをご利用できない場合 TEL052-223-0333（通話料有料）

一時退出実験試行箇所（新城IC～道の駅「もっくる新城」）

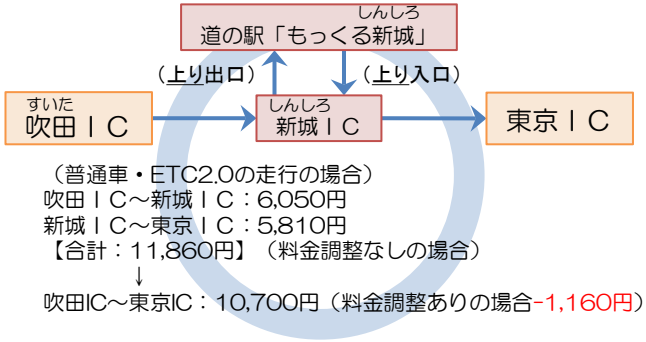
国土交通省

■ **利用条件**

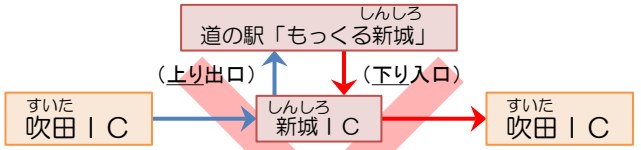
① **ETC2.0※搭載車が対象です。（全行程で同一のETCカードをご利用ください）**
② **新城ICでの乗り直しかつ順方向の利用に限ります。**
③ **道の駅「もっくる新城」に必ず立ち寄る必要があります。（道の駅入口付近のETC2.0送受信機を通過してください）**
④ **新城IC退出後、１時間以内に新城ICから再流入してください。**

一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。
【料金表示器では料金調整前の金額が表示されます。後日、カード会社等から請求させていただく際に、料金調整後の金額となります。】

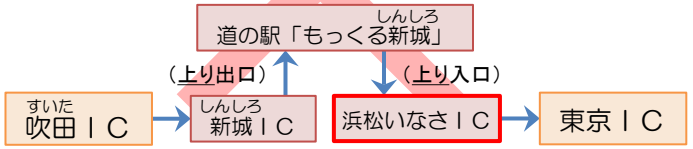
○順方向の例（料金調整されます）



×順方向とならない例（区間毎の通常料金となります）



×新城ＩＣ以外のＩＣで乗り直す例



新城IC～道の駅「もっくる新城」までの経路

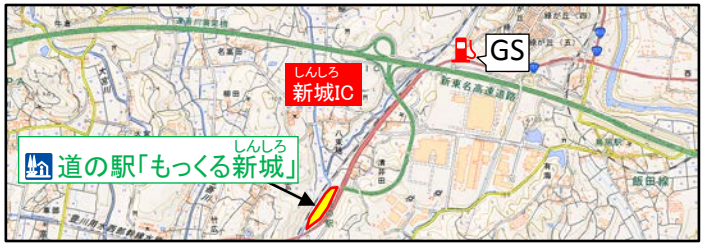
○ ETC2.0　× ETC

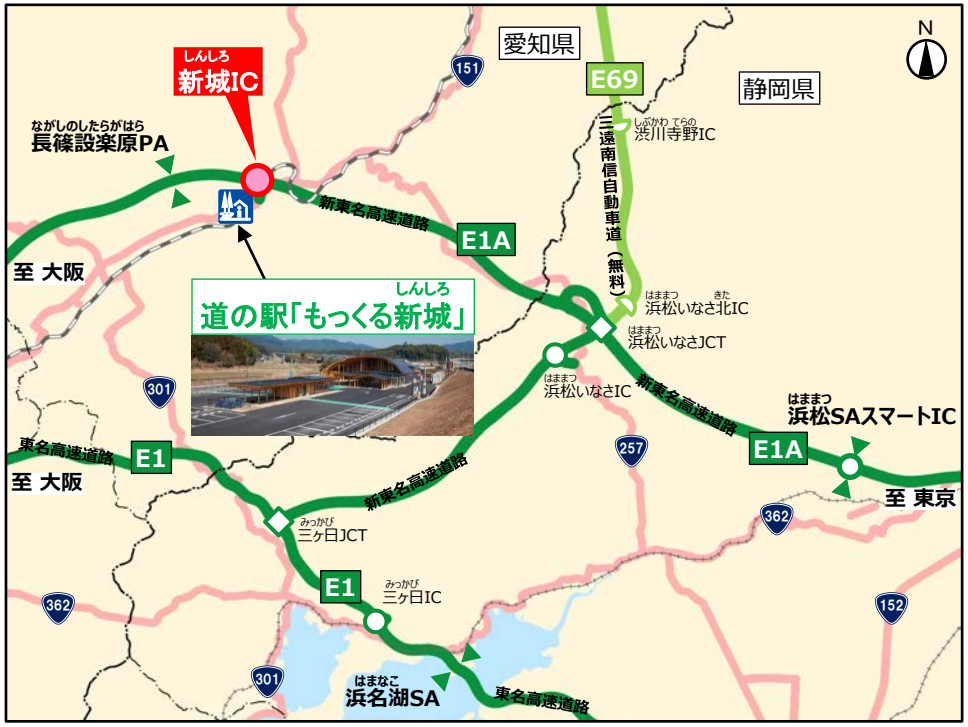
※本試行サービスの利用には、ETC2.0対応車載器が必要です。
ETC2.0対応車載器については（一財）ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」にてご確認ください。
http://www.go-etc.jp/etc2/etc2/use.html

一時退出実験試行箇所（新城IC～道の駅「もっくる新城」）

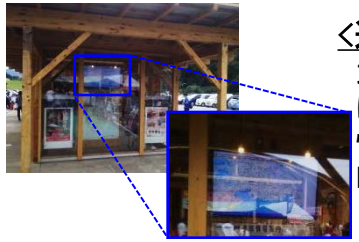
国土交通省

■E1A新東名高速道路の新城ICに近接する道の駅「もっくる新城」は、休憩施設（足湯）や道路情報の提供、地域の食材を活かした飲食メニューの提供などＳＡと同等の機能を有する





～ 道路利用者向けの提供サービス ～



<道路情報>
大型モニターにより、道路情報等を24時間提供。

<食事処>
標高1000mの高原野菜と、旬の野菜を活用したバイキングメニュー。

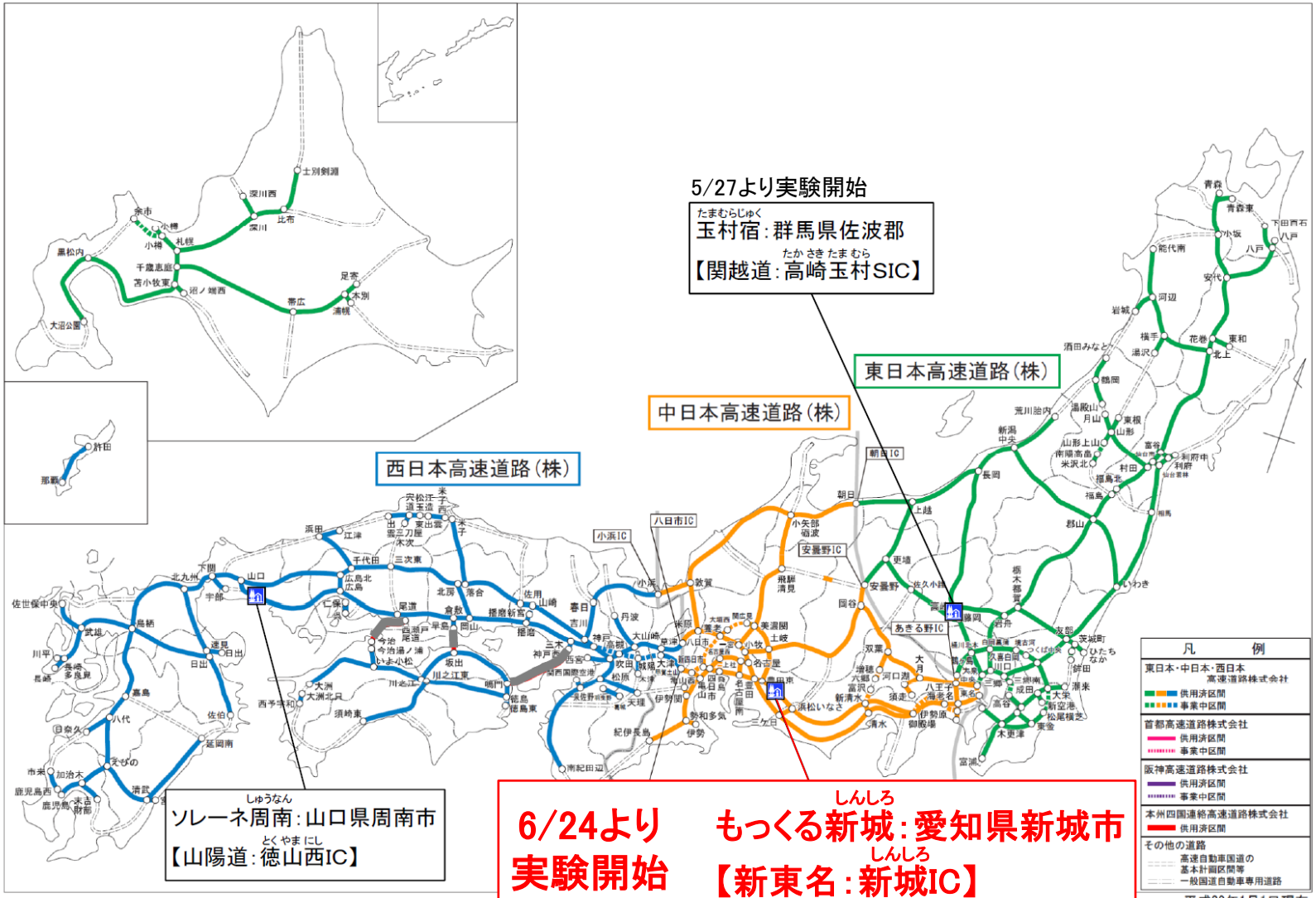
<直売所>
地元新城市の特産のみならず、奥三河の魅力ある商品を販売。

<足湯>
開湯1,300年の歴史を持つ湯谷温泉のお湯を使用した足湯。

<ファミリートイレ・多目的トイレ>
温もりを感じる木材を使用したファミリートイレ・多目的トイレ。

<EV充電器>
急速充電（1台）、普通充電（1台）を設置。

一時退出実験試行箇所（全国３箇所）

国土交通省

○ＥＴＣ２．０搭載車を対象として、高速道路外の休憩施設等への一時退出を可能とする実験を３箇所で実施
（H29年夏までに順次開始）
○今後、全国の高速道路で休憩施設の間隔が概ね25km以上ある約100区間について、半減することを目指す
○これにより、休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現するとともに地域の活性化を図る